

報告事項2. 2015年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第80回日本循環器学会学術集会(JCS2016)

会期：2016年3月18日(金)～20日(日)

会長：下川 宏明

(東北大学大学院医学系研究科
循環器内科学)

会場：仙台国際センター会議棟，仙台国際センター展示棟，東北大学百周年記念会館，川内萩ホール，仙台市民会館

メインテーマ：日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来 - 東日本大震災復興5周年 -

- (1) 一般演題
(口述，ポスター，
Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー
- (3) 真下記念講演
- (4) 特別講演
- (5) 会長講演
- (6) プレナリーセッション
- (7) シンポジウム
- (8) 会長特別企画
- (9) ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, KSC)
- (10) ラウンドテーブルディスカッション
- (11) トピック
- (12) コントロバシー
- (13) ミート・ザ・エキスパート
- (14) モーニングレクチャー
- (15) Late Breaking Clinical Trials
- (16) Late Breaking Cohort Studies
- (17) 第44回循環器教育セッション
- (18) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (19) 審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA審査講演
第6回コメディカル賞審査講演会
- (20) ガイドラインに学ぶ
- (21) ガイドライン解説
- (22) 第12回心臓移植セミナー
- (23) 保険医療セミナー
- (24) 第6回海外留学生セミナー
- (25) 第15回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (26) 第15回禁煙推進セミナー
- (27) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (28) 第14回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

- (29) 第6回男女共同参画委員会セッション
- (30) Circulation Journal Award Session
- (31) チーム医療セッション
- (32) 市民公開講座
- (33) サテライトセミナー(ランチョンセミナー，
ファイアサイドセミナー)：会期中3日間
- (34) 機器・書籍展示

2. プレレジストレーション

学術集会参加者向けに，参加登録，教育セッション，ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行う。

3. 印刷物・製作物

第80回学術集会関連の印刷物・製作物として，抄録CD，プログラム，電子抄録アプリ，教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.23 Supplement 2016)，企業展示ガイドブック，ピンバッジ，英文パンフレットを製作する。

4. My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題・チーム医療セッション・共催セミナー抄録を検索し，必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスをWEB版とアプリ版で行う。

5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は中国，香港，台湾，韓国は5万円，その他の国は10万円とする。

6. 発表データプレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「発表データプレエントリーシステム」を公開する。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して英語対応可能な託児室を設置する。

8. 日本循環器学会ブースの出展

第80回学術集会の期間中，展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展する。

9. 学会賞

以下の賞に関して，受賞者を決定する。

- 第41回日本心臓財団佐藤賞
- 第33回YIA Clinical research部門審査講演
- 第33回YIA Basic research部門審査講演
- 第14回国際留学生Young Investigator's Award
- 第24回CPIS賞

第11回心臓血管外科賞
第11回小児循環器賞
第10回循環器再生医科学賞
第9回女性研究者奨励賞
第5回循環器臨床研究奨励賞
第3回循環器イメージング賞
第6回コメディカル賞

Circulation Journal Awards for Volume 79, 2015
日本心臓財団・日本循環器学会2015年「心臓」賞

10. 日本循環器学会地方学術集会

第113回北海道地方会

会期：2015年6月27日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：三浦 哲嗣(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学)

第114回北海道地方会

会期：2015年11月28日(土)

会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会長：長谷部 直幸(旭川医科大学内科学講座)

第160回東北地方会

会期：2015年6月6日(土)

会場：盛岡地域交流センター マリオス(盛岡市)

会長：伊藤 宏(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)

第236回関東甲信越地方会

会期：2015年6月20日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：原田 和昌(東京都健康長寿医療センター)

第237回関東甲信越地方会

会期：2015年9月26日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：苅尾 七臣(自治医科大学循環器内科)

第238回関東甲信越地方会

会期：2015年12月5日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

第239回関東甲信越地方会

会期：2016年2月6日(土)

会場：ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長：山下 武志(心臓血管研究所付属病院)

第145回東海地方会

会期：2015年6月13日(土)

会場：名古屋国際会議場(名古屋市)

会長：大手 信之(名古屋市立大学心臓・腎高血圧内科学)

第130回北陸地方会

会期：2015年7月12日(日)

会場：福井商工会議所(福井市)

会長：水野 清雄(福井心臓血圧センター福井循環器病院循環器内科)

第146回東海・第131回北陸合同地方会

会期：2015年10月24日(土)

会場：名古屋ルーセントタワー(名古屋市)

会長：尾崎 行男(藤田保健衛生大学循環器内科)

第119回近畿地方会

会期：2015年6月20日(土)

会場：大阪国際会議場(大阪市)

会長：北風 政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

第120回近畿地方会

会期：2015年11月28日(土)

会場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会長：石坂 信和(大阪医科大学内科学Ⅲ教室(第三内科)・循環器内科)

第106回中国・四国合同地方会

会期：2015年6月19日(金)・20日(土)

会場：松山市総合コミュニティセンター(松山市)

会長：泉谷 裕則(愛媛大学心臓血管・呼吸器外科学)

第107回中国地方会

会期：2015年11月28日(土)

会場：アステールプラザ(広島市)

会長：東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所)

第107回四国地方会

会期：2015年11月14日(土)

会場：高知県立県民文化ホール(高知市)

会長：北岡 裕章(高知大学老年病・循環器・神経内科学)

第118回九州地方会

会期：2015年6月27日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：浦田 秀則(福岡大学筑紫病院循環器内科)

第119回九州地方会

会期：2015年12月5日(土)

会場：アクロス福岡(福岡市)

会長：上野 高史(久留米大学循環器病センター)

②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

英文誌Circulation Journal Vol.79 No.1～No.12を発行し、J-STAGEオンラインジャーナルとiPadにも掲載する。掲載内容は一般投稿論文に加え、依頼論文(Review Articles, Editorials, Guidelines)等である。

2. 国際編集会議

AHA開催期間中に、Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、国際編集会議を開催する。

3. 会告刊行

会告2015 No.1～No.6を発行する。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」に、開催された地方会のデータを登録する。

5. 循環器学用語の検討及び用語集アプリ版の検討

循環器学用語集の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討する。また、用語集のアプリ版作成に向け検討する。

6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信する。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科または心臓外科を標榜する約2,600施設のうち、日本循環器学会指定循環器専門医研修施設・研修関連施設を中心に協力依頼を行い、循環器疾患診療の実態についてWeb上で調査(対象期間：2014年1月～12月の1年間)を行う。

2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質評価事業

循環器疾患診療実態調査において収集したDPCデータにより、各病院の医療費増の縮小・最適治療やガイドラインへの反映を目的とし、医療の質評価事業を行う。本調査結果は申請により会員が使用できる整備も併せて進める。

3. 学術研究班

- (1) 心臓移植に関する提言(班長：磯部 光章)
- (2) 心臓サルコイドーシスの診断ガイドライン(班長：寺崎 文生)
- (3) 学校心臓検診のガイドライン(班長：住友 直方)
- (4) 血管炎症候群の診療ガイドライン(改訂版)(班長：磯部 光章)

- (5) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(改訂版)(班長：市田 路子)

4. ガイドライン作成

2013-2014年度活動の新規1件、2014年度活動の改訂版1件のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、ホームページ上に公開する。また、第80回学術集会時に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催する。

5. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存ガイドラインの内、2件を英訳化してホームページに掲載する。

6. Translational Research振興事業

よりTranslational Research振興事業らしいもので、助成終了時に実用化の目途が立つことが期待される実現可能性を重視した事業として、1件の研究支援助成を行う。

7. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- (1) 心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II
(EPO-AMI-II：主査 小室 一成)
- (2) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査
(J-MINUET：主査 小川 久雄)
- (3) 周産期(産褥)心筋症の発症に関する登録研究
(PREACHER：主査 池田 智明)

8. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリで登録されたデータの検証を行い、心原性ショックの転帰を改善させる対策を探求し、対策を講ずる。

9. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

10. 国内交流に関する事業

他学会からの要請に応じて、随時、本会としての対応を検討する。また、引き続きICD-CRT研修制度協議会での協議を継続する。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- (1) 海外学会へのブース出展として、ESC・AHAへブース出展を行う。
- (2) 海外学会と共同シンポジウムを開催する。
- (3) 第80回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行う。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- (1) 第26回循環器専門医資格認定試験を次のとおり行う。
筆記試験日：2015年8月23日(日)
東京会場：東京ファッションタウンビル
(東京都江東区)
大阪会場：梅田スカイビル(大阪市北区)
- (2) 循環器専門医資格の更新審査を行う。
- (3) 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。
- (4) 『循環器専門医』は2冊、Vol.23 No.2とVol.24 No.1を発刊予定。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第11回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの開催

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー・グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

第79回学術集会で開催された教育セッションをより多くの医師に視聴研修していただくことを目的に、教育セッションの内容を収録した「第43回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行う。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上を目的に、教育研修e-ラーニングのコンテンツを充実させていく。

4. 統計に関する研修合宿の開催

若手から中堅の医師を対象に、臨床疫学及び臨床統計学のスキルアップを目的とした研修合宿を行う。

5. 学術集会DVD

第79回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売する。

6. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHA ACLS EPプロバイダーコース
- (4) AHAハートセイバーCPR AEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

- (1) AHAコアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース
- (4) AHAハートセイバーインストラクターコース
- (5) AHA ACLS EP インストラクターコース

7. コメディカルセミナーの開催

2015年8月に、東京・大阪にて循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、コメディカルセミナーを開催する。プログラムには、企業共催講演を含む。

8. 男女共同参画に関する事業

現状を把握し、今後検討すべき問題を明らかにして提言を行うため、男女共同参画委員会セッションおよびセミナーを開催する。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- (2) 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討及び、VAD植込事後検証を行う。
- (3) 適応評価システム変更に対応するため、申請システムのメンテナンスを行う。
- (4) 心臓移植実施施設間の問題点、今後のあり方について協議を行う。
- (5) 学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、将来への展望などについて心臓移植セミナーを開催する。
- (6) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため市民公開講座を開催する。
- (7) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくためCirculation Journalにアニュアルレポートを投稿する。
- (8) 心臓移植実施施設(成人・小児)の認定審査に関連の学会・研究会と行う。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを月次で開催する。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第80回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、プレスカンファレンスを開催する。

3. 市民公開講座

第80回学術集会の会期中に、市民公開講座(会長企画)を開催する。

4. 禁煙市民公開講座の開催

第80回学術集会において第14回禁煙推進のための市民公開講座を開催する。

5. 心肺蘇生法市民公開講座の開催

第80回学術集会において一般市民を対象とした心肺蘇生法講習会を開催する。

6. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行う。

7. 禁煙ガイドブックの制作・販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の制作・販売を行う。

8. 禁煙啓発キャラクター「すわん君」を使用した禁煙啓発活動への取組み

本会の禁煙啓発キャラクター「すわん君」のグッズを制作し、学術集会や市民公開講座会場で配布し禁煙啓発を行う。また、twitterやLINEなどのSNSを活用し、多くの市民の方々への禁煙啓発を呼びかける。

9. 禁煙推進学術ネットワークとのコラボグッズを制作

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての東京都受動喫煙防止条例の要望書提出をうけて、禁煙推進学術ネットワークとのコラボピンバッジを作成して学術集会等で配布するほか、各界の禁煙推進を行っている方々に配布する。

10. 学会ホームページの運営

会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載する。特に、一般市民に循環器疾患を分かりやすく説明するページを拡充する。

11. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望

等に関係各所に行う。

12. 医療安全に関する事業

循環器領域の医療安全の向上を目的として、本委員会内規にある業務内容に沿って業務を行う。

13. 心肺蘇生法に関する事業

ファミリー&フレンズコース(市民向け講習会)を開催する。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の普及、実施を行う。臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく本学会細則の普及・実施を促し、学会員の意識向上を目指す。